

閉会中の調査報告

産業経済常任委員会

日時：平成 28 年 7 月 21 日(金) 9：25～10：52

出席者：委員長	栗津寛三
副委員長	松井圭子
委員	矢野進次
委員	赤祖父裕美
委員	加藤貞一郎

議事案件

- 事務事業評価について
 - ・公園維持管理事業

説明員：建設経済部長、建設経済部次長、都市政策課係長

都市公園 23 か所と地域ふれあい公園 186 か所の整備および維持管理について執行部から下記の概要説明を受けた。

清掃や除草はシルバー人材センターや地元区などに委託。樹木剪定や枯れ松伐採などは、環境の阻害状況を考慮し順次行っている。施設は、危険性などで優先順位をつけ順次修繕をしている。平成 26 年度の産業経済常任委員会の事業評価を踏まえ、平成 27 年度より遊具の安全点検を実施し個々の点検済みシールと公園入口に点検結果をラミネート掲示している。平成 28 年度からは簡易なラミネート掲示からプラスチック製に取り換えている。

高齢化に伴い公園利用の形態も変化がある。高齢者の健康管理につながるグラウンドゴルフの利用が増加している。老朽化した公園施設や耐用年数を過ぎた施設遊具も多く利用者の不安の声を聞いている。

その後、下記の質疑応答があった。

問 修繕予算に変化はあるか。

答 同額程度で推移している。

問 危険度の高い遊具は減っているのか。

答 順次点検を行っているので減少している。

- 問 遊具点検は誰がしているのか。
- 答 遊具の製作者に委託している。
- 問 耐用年数を過ぎた遊具での事故を考慮し撤去や取り換えをするべきではないか。
- 答 耐用年数を大きく過ぎたものは取り換えていくようにする。
- 問 昨年度に使用禁止となった遊具はどれくらいか。
- 答 4機を即時使用禁止とし撤去したものもある。
- 問 遊具の安全管理台帳はあるのか。
- 答 点検結果の一覧表は作っている。
- 問 木製などの魅力のある遊具を設置する考えはないのか。
- 答 耐用年数や価格を考慮すると難しい。
- 問 一年に一度の点検で十分か。
- 答 業者の点検以外に職員による点検も指示をしている。

○議会報告会での意見・要望について

前回の委員会で審査漏れがあり再度審査を行った。「親水公園の開園時間を夏と冬で別に設けるべきではないか」「石部商工会が閉鎖されるのはさみしい」という意見・要望については、議会報告会で回答済みであり委員会では扱わない。

「旧甲西町時代の観光マップがあるので訂正すべき」については、教育委員会による設置もあるが建設経済部長に申し入れを行うこととした。

「国道1号の中郡橋北交差点が、栗東方面から来た場合左折できない」「国道1号と市道野神8号線の交差点に信号機が必要」「市道吉永山手線の完成は確かかどうか。交通量の変化に対する安全への対応は」については、議会として県等へ要望できるよう調整していく。

「空き家問題は市としてどのような対策を予定しているか」については、委員会として閉会中の調査とする。